

第 19 回

霞ヶ浦帆引き船フォトコンテスト

帆引き船の勇壮な姿と霞ヶ浦の風景

霞ヶ浦帆引き船フォトコンテストは、2001年（平成13年）に第1回が開催されて以来、現在では霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の主催で行われ、今年で19回目を迎えています。

今回も撮影者の多くが、何度も霞ヶ浦に足を運び独自の目線で帆引き船と霞ヶ浦の風景を切り取った371点（一般部門・帆引き船の部276点 / 霞ヶ浦の風景の部65点 / 小中学生部門30点）の素晴らしい作品が寄せられました。



図 歴史博物館 029-896-0017

フォトギャラリー

審査講評



立木 寛彦 氏

今年で19年目を迎えました。昨年より数は少し減りましたが、大変内容の濃い作品が揃いました。これも帆引き船に対する写真思考が向上し、「いかに表現したら良いか？」の写真追求に他ありません。

帆引き船部門では、入賞者の作品はほとんどが同列に等しかった。これは19回続けたコンテストの結果だと思います。厳正かつ厳粛に一つ一つの作品を審査し、その年度に値する写真を選出して決めているからです。また、継続は力であり、向上があります。素晴らしいコンテストではありませんか。また、小学生の部門では、大人顔負けの素晴ら

しい作品が寄せられました。構図の狙い、カメラワーク、色の配分など全て上位の作品でした。

現代（いま）は、カメラの技術向上によりひと昔前では考えられない素晴らしい撮影ができるようになりました。

来年は20年目を迎えます。これもひとえに皆さんのおかげとっております。今、写真界では、「一つのテーマで20年の間フォトコンテストが続けられているのは珍しい」と高く評価されております。

来年こそ勇壮な帆引き船を後世に継承し、日本の文化遺産に繋がるよう盛大なフォトコンテストにしたいものです。

授賞式を行いました

2月16日、農村環境改善センターで「第19回霞ヶ浦帆引き船フォトコンテスト表彰式」が開催され、入賞者35人に賞状と記念品が贈られました。各部門の最優秀賞には、帆引き船の部（茨城県知事賞）は廣岡忍さん、霞ヶ浦の風景の部（かすみがうら市長賞）は長谷川正一さん、小中学生の部（かすみがうら市教育長賞）は藤崎かりんさん、審査員特別賞は小林優さんがそれぞれ受賞しました。



最優秀賞/茨城県知事賞
「風と共生」廣岡 忍（春日部市）



最優秀賞/かすみがうら市長賞
「夜空を彩る」長谷川 正一（笠間市）



最優秀賞/かすみがうら市教育長賞/コカコーラ賞
「湖の朝焼け」藤崎 かりん（かすみがうら市）



審査員特別賞/霞ヶ浦河川事務所長賞
「伝統の帆引き船」小林 優（石岡市）

市内入賞者作品



優秀賞/コカコーラ賞
「かすみさんぽ」
ニクライ 龍之介



かすみがうら市観光協会賞
「幽玄なライトアップ」
田井 俊夫



ラクスマリーナ賞
「競演」
加瀬 雅俊



霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合賞
「湖上の華」
初鳥 千代子



霞ヶ浦漁業協同組合かすみがうら市支部長賞
「豊漁」
藤井 美代志



常陽銀行賞
「満帆」
小松崎 正義



入選
「帆引き船と筑波山」
福田 弘



入選
「夕景」
加瀬 京子